

学生を対象とした現場見学会を実施しました。

2016 “地域インフラ”
関東 サポートプラン

未来の担い手への地域建設現場見学支援：「若人よ、自ら見て(look)・触れて(touch)・感じて(feel)ほしい」

主催者



(一社)山梨県建設業協会

支援(現場提供)



国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

甲府河川国道事務所



開催日時：平成29年2月17日(金)

見学対象：山梨県立 峡南高等学校 土木システム学科 2年生
17名(男子13名, 女子4名), 教諭3名

見学場所：山梨県南巨摩郡身延町波高島地先(中部横断自動車道 下部温泉早川IC 建設現場)

工事受注者：中部横断常葉川橋他上部工事横河・飯田特定建設工事共同企業体



トルシア形高力ボルト取付体験



下部温泉早川IC 建設現場 全景

【説明者】

本日の見学会を通じて、普段見ることができない構造物が出来上がる過程を体験してもらい、今後の進路選択の上で、建設事業をより具体的にイメージし、興味をもってもらえれば幸いです。参加していただいた生徒の方々及び関係者の方々に感謝を申し上げます。



監理技術者：堀 哲

【学生】

中部横断自動車道の「下部温泉・早川IC」外3カ所の現場を見学し、授業や教科書では教えてもらえないところを自分の目で見ることができ、とてもよい機会でした。

ドローンを使って周辺の景色が見れる最新の技術や実際に鋼材のボルトの締め付け体験を経験し建設業への興味が増し、将来は建設の仕事に就きたいと思いました。

【(一社)山梨県建設業協会】

当日は、小雨が降る天候でありましたが、参加された学生はボルトの取付け体験などに目を輝かせ、建設現場を直接肌で感じ取った様子でした。

このような見学会を通じ、建設業協会としては、将来の若手の入職に期待するところです。